

病害虫防除技術情報第 7 号

令和 3 年 7 月 5 日
三重県病害虫防除所

水稻いもち病の感染好適日が続いています。

葉いもちの発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。

1. 対象作物 : 水稻

2. 対象病害虫名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)

3. 発生状況

(1) いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、県内アメダスポイント 12 か所の気象データをもとに判定した感染好適条件の初発は 5 月 18 日で、過去 10 年の中で 3 番目の早さです。また、5 月から 6 月にかけての出現回数は計 48 回で、過去 10 年の中で 2 番目に多くなっています。

(2) 6 月第 1~2 週の巡回調査では、葉いもちの発生圃場率は 0% (平年 0.0%) であったものの、6 月下旬から 7 月にかけて県内各地で発生が確認されています。今後は中山間部での発生や、業務用米等の多肥栽培を行う品種(特にいもち病に対し罹病性の高い品種)での発生が多くなると予想されます。

(3) 1 か月予報(7 月 1 日・名古屋地方気象台発表)によると、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。既に葉いもちを発病している圃場では、上位葉に病徴が進展する可能性があります。

4. 防除対策

(1) 葉いもちが発生している圃場では発見次第、防除を徹底しましょう。穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂前および穂揃期に薬剤散布しましょう。

(2) 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行きましょう。

- (3) 追加防除を行う場合は農薬使用回数に注意しましょう。
- (4) 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
- (5) 飼料用水稲や業務用米などの普通期水稻は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
- (6) QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- (7) QoI 剤を使用したにもかかわらず、ずり込み症状などの病徴があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！